

平成 24 年度第 6 回（9 月）理事会議事録

- ◇ 日 時： 平成 24 年 9 月 13 日（木） 午後 7 時 00 分～8 時 00 分
- ◇ 会 場： 社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 運天、竹浦、吉本、高田、清水、田畑、井戸田、出野、山田、宮野、酒井、栗本、山西、杉山、増田、久保田、栗本監事、山中監事、事務（岩崎）
- ◇ 欠席者： 荒木、後藤
- ◇ 議 長： 運天

【 討議内容 】

I. 行動報告（8 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技・近臨技

8 月 26 日に日臨技関西支部幹事会を開催した。

- ・ 本年度より近臨技研修会は日臨技関西支部研修会として実施する。
- ・ 日臨技研修会の参加費は非会員の場合、プラス 1 万円必要であるが、近畿各府県のみ会の会員については、今年度は日臨技会員と同額とする。差額は近臨技からの寄付金（10 万円）で補う。
- ・ 関西支部研修会、細菌検査伝達・実技講習会の開催について、京臨技での開催が困難であるため他府県と調整する。
- ・ 日臨技学術組織再構築検討委員として各支部から 1 名、全国公募若干名を推薦する。
- ・ 関西支部学会の開催担当府県の順を、平成 25 年度:福井県、平成 26 年度:兵庫県、平成 27 年度:大阪府、平成 28 年度:京都府、平成 29 年度:奈良県、平成 30 年度:滋賀県、平成 31 年度:和歌山県とする。

2. 事務局

〈総務部〉8 月 15 日（水）に部会を開催した。

- ・ Web 版大臨技会報の作成について検討した。
- ・ 日臨技連盟の広報について検討した。
- ・ 日臨技会員のみ対象の行事の広報について検討した。
- ・ 大臨技ニュース 8 月号を発行した。
- ・ 大臨技ホームページを更新した。

〈会計部〉8 月 15 日（水）に部会を開催した。

- ・ 7 月度収支決算書を作成した。
- ・ 事務員 8 月分給与を送金した。

〈渉外部〉8 月 21 日（火）に部会を開催した。

- ・ 第 38 回献血推進活動（8 月 25 日開催）の準備を行った。
開催後報告：受付数 182 名、採血数 143 名。
- ・ 大臨技・大放技合同フォーラムの進捗状況について説明した。
- ・ 府民健康フォーラム（10 月 28 日開催）の進捗状況について説明した。
- ・ がん検診フォーラム（日臨技公益委託事業）について進捗状況について説明した。

- ・ 学術部免疫血清部門府民公開講座の広報について説明した。

3. 事業局

〈情報組織部〉8月16日(木)に部会を開催した。

- ・ 新入会員研修会の反省を行った。
- ・ 多職種合同チーム医療研修会について役割分担を行った。
- ・ 研修会等開催報告

①新入会員研修会(8月4日 大臨技事務所)

参加者 39名(内訳:新入会員 25名、講師他関係者 14名)

②第19回糖尿病療養指導士講演会(7月16日 大阪大学中之島センター)

参加者 110名(内訳:臨床検査技師 64名、看護師 13名、薬剤師会 7名、栄養士会 8名、その他 2名、講師 4名、世話人 12名)

〈地区事業部〉8月23日(木)に部会を開催した。

- ・ 会員交流会(10月6日(土) 堺とれとれ市 13:30~16:00頃)について検討した。

会費:会員 2,000円(大放技参加者は 4,000円)

内容:クルージング、マグロの解体ショー、バーベキュー等

- ・ 健康展にについて検討した。

吹田市健康展:9月8日・9日、摂津市民健康まつり:11月11日

〈学術部〉部会開催なし

III 他、報告

1. 「学術組織再構築に関する検討委員会」委員の推薦について(運天会長)

日臨技から学術体制の再構築を行うため、臨時委員会として「学術組織再構築に関する検討委員会」を設置し、今後の学術体制を構築するにあたり多くの会員から意見を求めるため、支部推薦委員ならびに全国の正会員から委員の公募依頼があった。

これを受け、大臨技から高田常務理事を関西支部推薦委員として推薦した結果、関西支部から推薦することとなった。

2. データ標準化プレサーベいの進捗状況について(竹浦副会長)

生化学項目のプレサーベいが順調に終わり、引き続き、今回から過去に実績のない血球項目として血算およびヘモグロビンA1cのプレサーベいを行った。結果は、白血球数について1施設のみ他施設の平均値より低値が見られたが、これは、検体搬送時に保冷材が接触したことが原因であると思われるため、検体搬送時の温度管理について今後の検討課題とする。ヘモグロビンA1cについては良好であった。

当プレサーベいの結果を踏まえ9月21日に会議を開催し、サーベい実施前の最終の詰めを行うこととした。

3. 大臨技研修会における参加者受付について(吉本副会長)

日臨技生涯教育履修登録用に使用するバーコードリーダーおよびPC端末不足分14組の支給を関西支部を通じて日臨技へ要望したが、日臨技から予算上の問題により支給できない旨の連絡があるとともに、会員自身による履修登録について了解を得た。このため、大臨技としては、現行通り基本的に会員自身による履修登録を続行することとなった。

また、会員自身による履修登録の有効期限(1ヶ月)以降の登録対応については、次回の総務・会計部会で検討することとした。

4. 近畿臨床検査技師会の発展的解消通知について（運天会長）

標記について、近畿臨床検査技師会の富永会長より近畿臨床検査技師会会員に向けての文書が発行された。当文書について一部修正後、その内容を大臨技会員に広報することとした。

5. その他

- Web版大臨技会報（第198号）の最終校正を19日の総務・会計部会で行い、校正後、大臨技ホームページに掲載する。
- 府民公開講座で日臨技委託事業の平成24年度がん検診フォーラム（子宮頸がん検診）の進捗状況について、資料に沿って説明があった。
開催日時：平成24年10月13日（土） 14:00～17:00
開催場所：大阪府医師協同組合会館8階大ホール
広報については、チラシ配布および一般新聞への開催案内の掲載依頼を行う予定である。
- 大阪府への公益法人申請の進捗状況については、主務官庁から法務課に申請書類が提出され、法務課で確認中。今後、問題なく11月中旬に申請認可が下りれば年内に公益法人に移行するが、来年認可の場合は、平成25年4月に公益法人移行となる予定である。
- 北支部の前田富士子氏が所属施設変更のため中央支部に変更となったことに伴い、摂津市健康展の責任者を松本氏に変更した。
- 大阪府より平成24年度公衆衛生事業功労者に対する厚生労働大臣表彰対象者の推薦依頼があったが、推薦締め切りが間近であったため、今回は対象者なしと返答した。次回から推薦する対象者がいた場合、事前に吉本副会長に一報することとした。
- 当会の久保田理事が人命救助をしたことにより感謝状を授与された記事が新聞に掲載された。当新聞記事内容を大臨技ニュースに掲載することとした。

IV. 議 題

1. 日臨技と日臨技連盟のあり方について（運天会長）

臨床検査の業務拡大推進を目的とした日臨技連盟への加入促進のため、大臨技ニュースならびに大臨技ホームページへ「大臨技から報告とお願い」（別紙資料）を掲載することについて検討した。

検討の結果、掲載文を一部修正後、日臨技目的と共に大臨技ニュースならびに大臨技ホームページへ掲載することとした。

また、日臨技連盟加入者が自身で加入の有無を確認できるよう、日臨技連盟から大阪府の加入者名簿を受け取り、加入者に対し掲載諾否の確認後、大臨技ホームページに大阪府の加入者名簿を掲載することとした。

2. 関西支部学会ポケット版プログラム配布の問題について（吉本副会長）

平成24年度日臨技関西支部医学検査学会（9月29・30開催）のポケット版プログラムを大臨技会員に送付後、日臨技のみの会員から届いていないとの報告を受けたため、今後の配布方法等について検討した。

大臨技における日臨技のみの会員の把握については、前年度会費未納者への対応時期と当プログラム送付対象の把握時期が重なり、送付時に日臨技のみの会員の把握が不可能であったことが原因であり、他の近畿各府県事務局においても把握ができなかったことの報告があった。

このことを受け、当学会事務局はホームページ上にポケット版プログラム配布の案内を表示し、PDFで閲覧できるように対応した。

大臨技における今後の対応として、以下の意見が上がった。

- ・前年度までの日臨技定款における日臨技会員条件である、日臨技会員は地臨技会員が前提である条件を、復活してもらうように日臨技に働きかける。
- ・日臨技および大臨技会費の納入方法として、口座引き落としによる方法も検討して行く。

3. その他

1) 大臨技の共催事業における参加者名簿の取り扱いについて

大臨技の共催事業において、共催する団体から参加者名簿の提出希望があったため、その対応について検討した。

検討の結果、個人情報流出防止のため、参加者名簿は参加者数の把握のみに限定して使用する旨の誓約書を大臨技側で作成し、共催団体からの当誓約書提出により参加者名簿を提出することとした。

以上

理事会議事録確認（署名）
